

嬉野市地域防災計画修正（令和6年1月）の概要

※ 赤字部分が、計画に反映した項目

防災基本計画（令和5年5月）主な修正項目

令和4年に発生した災害を踏まえた修正

- 旅客船の総合的な安全・安心対策の強化
- 火山噴火等による津波に関する普及啓発・情報伝達

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る基本計画の変更を踏まえた修正

- 北海道・三陸沖後発地震注意情報（※）の解説・伝達
- ※日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺でM7.0以上の地震が発生した場合、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信し、大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして、後発地震への注意を促す取組について、令和4年12月より運用を開始。

その他最近の施策の進展等を踏まえた修正

- 多様な主体と連携した被災者支援
 - ・都道府県による災害中間支援組織（※1）の育成・強化、関係者の役割分担の明確化
 - ・災害ボランティアセンター設置予定場所の明確化
 - ・災害ケースマネジメント（※2）などの被災者支援の仕組みの整備
- ※1 NPO・ボランティア等の活動支援や活動調整を行う組織
※2 一人ひとりの被災者の状況を把握した上で、関係者が連携して、被災者に対するきめ細やかな支援を継続的に実施する取組
- 国民への情報伝達
 - ・長周期地震動階級に係る情報の解説・伝達
 - ・通信障害発生時の丁寧な周知広報の実施
 - ・障害者の情報取得・意思疎通に係る施策の推進
 - デジタル技術の活用
 - ・被災者台帳、避難行動要支援者名簿の作成等へのデジタル技術の活用

佐賀県地域防災計画（令和5年3月）主な修正項目

令和4年度の県の災害対策の取組を踏まえた修正

- 防災機能を有する道の駅を広域的な地域の防災拠点として活用
- おそれ段階の救助法の柔軟な運用
 - ・災害が発生するおそれ段階での災害救助法適用に関する調整及び手続きについて、災害警戒本部の段階で行うことができるように規定

令和4年度に全国で発生した災害を踏まえた修正

- 盛土による災害の防止に向けた対応
 - ・危険が確認された盛土に対して自治体による速やかな是正指導を行う。
- 行方不明者の氏名等公表による救助活動の効率化・円滑化
 - ・平時からの行方不明者の氏名等公表に係る手続き等について明確にしておく。
 - ・災害時は氏名等公表による速やかな行方不明者の絞込みに努める。
- 適切な避難行動の促進や避難情報の適切な発令
 - ・学校において消防団員等が参画した体験的・実践的な防災教育の推進に努める。
 - ・避難情報の発令に関して気象防災アドバイザーなど専門家の助言等を活用する。

関連する法令の改正を踏まえた修正

- 災害応急対策に従事する航空機の安全確保
 - ・災害対応に従事する航空機の運用調整においては、航空機の安全確保のため、必要に応じ緊急用務空域の指定を行う。
 - ・同空域が指定された際は、指定公共機関、報道機関等からの無人航空機の飛行許可申請に係る調整を行う。

その他最近の施策の進展等を踏まえた修正

- 気象情報に線状降水帯の予測情報を追加
- 避難所において食物アレルギーへ配慮した食糧の確保に努める。
- 災害拠点等において再生可能エネルギーを活用した非常用電源の確保に努める。

嬉野市地域防災計画（令和5年12月）主な修正項目

令和5年の変化事項に基づく修正

- 原子力災害対策
 - 伊万里市からの避難者が利用する避難所一覧表を追加

更に充実した事項

- 鉄道災害対策
 - JR九州と連携して内容を充実予定

更新したデータ

- 人口、降水量等の数値の更新

その他の変更事項

- 誤字脱字等修正 ○適切な表現への修正

佐賀県地域防災計画（令和5年3月）主な修正項目

防災基本計画（令和5年5月）主な修正項目